



南薩少年自然の家通信

令和6年7月発行 第48号

わたしたちの願い
篤き志 強い体 広い心



☆ここでしかできない貴重な体験☆

所長 折田 信子

夏休みがスタートし、中学生は、九州、全国大会予選でもある県総合体育大会や高校生は、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)、同じく文化系も九州、全国大会に向けて猛練習を行っていることでしょう。悔いの残らない大会になるよう、頑張ってください。また、7月26日～8月11日までパリオリンピックが開催され、日本選手団から目が離せない毎日です。

令和6年4月下旬からの集団宿泊学習も前半の団体利用が終了しました。利用した生徒からは、「友情を深めることができた。」「協力することの大切さを学んだ。」「日頃からテレビやゲームなどのある生活をしてきたことに、気付かされた。」などの感想がありました。天候等に左右されたり、学校の規模やプログラム等は違ったりしますが、ここでしか出来ない貴重な体験をそれぞれ出来たことと思います。

また、当所の活動プログラムと学校の教育課程との連携を目指した「それゆけ!ペガちゃんプラン」を実施しています。活動の目的・内容に合致した教科等で時数算定できますので、是非、御活用ください。



すなとなかよし (ペガちゃんプラン)

さて、36年目を迎えた当所は、吹上浜海浜公園敷地内にある恵まれた立地条件のため、様々な大会や合宿、町内会、研修等で利用されています。周辺には国の天然記念物に指定されている「万之瀬川河口域のハマボウ群落及び千潟生物群集地」があり、この時期は、大きなはさみを上下に振って求愛するハクセンシオマネキや鮮やかな黄色の花のハマボウを公園内で観察することができます。公園内を周遊できるサイクリングやカヌー体験のできる海浜型のパッケージプラン等、ホームページで御確認いただき、参加時(1団体5人以上)に観察してみたいかがでしょうか。その他、体験活動ブースを必要とする学校やPTA、青少年教育団体、地域における団体等ございましたら、ぜひ、お問合せください。出前授業等で、対応させていただきます。この夏も当所の立地環境を最大限に生かしながら、質の高い体験活動に取り組んでまいります。

国の天然記念物

「万之瀬川河口域のハマボウ群落及び千潟生物群集」

7月から8月にかけて、黄色いハマボウの花が万之瀬川の川岸を彩ります。ハマボウはアオイ科の落葉低木で、本州南部の太平洋岸から奄美大島にかけての各部砂泥地に見られます。近年、河川改修等によって生息域が狭まっていることから、2007年に国の天然記念物に指定されました。

また、砂泥地の干潟には、ハクセンシオマネキが生息しており、国内最大の生息地と言われています。



タペのつどい



カヌー体験

主催事業紹介

みんなひとつべ!ふれあいなんさつ①【6月22日(土)開催】

最初の親子レクリエーションでは、少しずつ緊張がほぐれ、笑顔が見られました。その後、火起こし体験では自分たちで起こした火を使い、野外炊飯(カレー作り)を行いました。ヤングメイツも5人参加し、子どもたちとの関わりの中でボランティアの経験を積むことができました。



親子レクリエーション



火起こし体験



野外炊飯



保護者懇談会

なんさつわんぱく探検隊【7月27日(土)～28日(日)開催】

小学校3・4年生を対象に、34人が参加しました。ヤングメイツも6人参加し、班付きのスタッフとして子どもたちと関わりました。最初のアイスブレイクでは、初めて出会う子ども同士の緊張をほぐすことができ、その後のたんけんミッションでのチームワークにつなげることができました。また、テント設営やカートドッグづくりなど、自然の中での活動を十分体験することができた2日間となりました。



アイスブレイク



たんけんミッション



カートドッグ作り



テント設営

今後の主催事業

事業名	対象・募集定員
9月15日(日) なんさつの星空観望会 ～中秋の名月を見よう～	どなたでも35人程度
9月15日(日)～ 9月16日(月) ファミリーキャンプ	10家族35人程度
10月6日(日) 秋のサイクリング	どなたでも35人程度
10月20日(日) 親子で忍者体験	10家族35人程度(幼児対象)



〈問合せ先〉 県立南薩少年自然の家
〒899-3404 南さつま市金峰町高橋 3252
(Tel) 0993-77-2500 (FAX) 0993-77-1929
(ホームページ) <http://www.pref.kagoshima.jp/kikan/nansatsu/>

